リウム試液10mLを加えて溶かし、250mLの全量フラスコに入れ、さらに、水を標線まで加えて250mLとする。この溶液10mLを全量ピペットを用いて量り、１mol／Ｌ塩酸10mLを入れた200mLの全量フラスコに入れ、水を標線まで加えて200mLとし、標準液とする。また、別に、0.5mol／Ｌ水酸化ナトリウム試液10mLに水を加えて250mLとし、この溶液10mLを200mLの全量フラスコに入れ、１mol／Ｌ塩酸10mL及び水を標線まで加えて200mLとし、空試験液とする。50mLの全量フラスコ⑴から⑶までを用意し、⑴に試料溶液を、⑵に標準液を、⑶に空試験液をそれぞれ10mLずつ全量ピペットを用いて量り、それぞれにつき、次の操作を行う。

１mol／Ｌ塩酸５mL及び新たに調製した亜硝酸ナトリウム溶液（１→1,000）５mLを全量ピペットを用いて加え、振り混ぜた後、２分間放置する。次に、新たに調製したスルファミン酸アンモニウム溶液（１→200）５mLを全量ピペットを用いて加え、振り混ぜ、３分間放置した後、新たに調製したＮ―（１―ナフチル）―エチレンジアミン二塩酸塩溶液（１→1,000）５mLを全量ピペットを用いて加え、振り混ぜ、10分間放置し、さらに、水を標線まで加えて50mLとする。⑴及び⑵の溶液につき、⑶の溶液を対照液として波長545nm付近の極大波長における吸光度A_T及びA_Sを測定する。

スルファキノキサリン（$C_{14}H_{12}N_4O_2S$）の量（mg）

$$=\text{スルファキノキサリン標準品の量（mg）}\times\frac{A_T}{A_S}$$

㈠　保存の方法の基準

密閉容器に保存すること。

(160)　クエン酸モランテル

ア　製造用原体

㈠　成分規格

含量　本品は、定量するとき、クエン酸モランテル（$C_{12}H_{16}N_2S\cdot C_6H_8O_7\cdot H_2O$）98.0％以上を含む。

物理的・化学的性質

①　本品は、淡黄色～黄色の結晶性の粉末で、味は僅かに苦く、特異な臭いを有する。

②　本品は、メタノールにやや溶けやすく、水及びエタノールに溶けにくく、酢酸エチル及びベンゼンにほとんど溶けない。

③　本品の水溶液（１→200）のpHは、3.3～4.5である。

④　融点116～120℃

確認試験

①　本品0.1ｇ（0.05～0.14ｇ）に水30mLを加えて溶かす。この溶液0.5mLにｐ―ジメチルアミノベンズアルデヒド・塩化第二鉄試液３mLを加えるとき、溶液は、赤紫色を呈する。

②　本品0.01ｇ（0.005～0.014ｇ）に水２mLを加えて溶かし、過マンガン酸カリウム試液１滴を加えるとき、試液の色は、30秒以内に消える。

③　本品５mg（4.5～5.4mg）にクエン酸の無水酢酸溶液（0.5→100）２mLを加え、水浴中で加熱するとき、赤色～赤紫色を呈する。

（新設）